

2020 学年度

学校評価結果報告書

学校法人金剛学園

金剛学園小学校

# 2020年度 金剛学園小学校 学校評価

## 1. 目指す学校像

韓国系国際学校として多様な国籍の児童がいる中で、お互いの文化や背景を尊重しながら、国際人意識を深め、日本と韓国は勿論、世界に広がる人材を育成できる学校を目指す。また、多様な夢を共に実現できる場を提供する学校づくりのために努力すると同時に、正しい人格と実力を備えた人材育成を図ることを目指している。

- ・豊かな国際感覚の育成
- ・温かい心、人間性の育成
- ・確かな学力の育成
- ・主体的に取り組む児童の育成
- ・教育環境の充実

## 2. 中期的目標

### 1. 豊かな国際感覚の育成

- ① 韓国語の語学力を向上させる。また韓国語能力試験対策を実施、より高い資格を習得できるようにする。國人プログラム（韓国の大学生が行うプログラム）の実施。
- ② 英語の語学力を向上させる。放課後英会話を実施。英語検定力試験対策を実施し、より高い資格を習得できるようにする。
- ③ 国際的な行事や語学活動を通し豊かな国際感覚を醸成する。  
(旧正月行事・韓国語弁論大会・ハロウィンなど)

### 2. 温かい心、人間性の育成

- ① 礼儀正しく、規則を守り、基本的な生活習慣を持つ子どもを育てる。
- ② 人権教育の推進を図り、相手の立場を理解できる思いやりのある豊かな人間性を育む。
- ③ 主体的に取り組む力を育てる。

### 3. 確かな学力の育成

- ① 基礎・基本となる学力の定着を図る。(算数分班授業、日本語・韓国語基礎補習授業の実施。)
- ② 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得出来るように教材研究をする。
- ③ 教材開発に力を入れる。コロナ対策として家庭学習用教材（配信用動画教材）を作成する。
- ④ 朝読書を実践し、児童の集中力を高め、効率よく学習効果を上げる。

### 4. 教育環境の充実

- ① 教育環境の充実。(各教室にノートパソコン・電子黒板設置、iPad40台完備、PC教室のノートPC充実)
- ② 安全教育の充実。(安全教育研修実施、防犯カメラ設置、AED設置、防災セット完備、スクールバス運行、下校指導・避難訓練〈火災・地震・津波〉)

3. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p style="text-align: center;">  豊かな国際感覚の育成</p>	<p>① 語学力向上 -韓国語-</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別 3 班編成で授業を実施。</li> <li>・放課後 TOPIK 対策授業をレベル別に 3 班編成で実施。</li> <li>・校内での韓国語使用率を増やし、韓国語で会話ができる力を養う。</li> <li>・1 年の算数・生活科で韓国語イマージョン教育を実施する。</li> </ul>	<p>韓国語能力試験 (TOPIK)、校内韓国語試験の結果、校内での韓国語使用頻度、韓国語弁論大会のレベルなどを指標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国語能力試験 2020 学年度は新型コロナウイルス感染症感染防止のため試験が実施されなかった。</li> <li>・韓国語の授業では本国班はもちろん、初級班、中級班もほとんど韓国語だけで授業を行うことで児童の韓国語の実力が伸びた。</li> </ul>
	<p>② 語学力向上 -英語-</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の授業を全学年週 3 時間確保する。高学年はそのうち 1 時間を英検の授業とする。</li> <li>・すべての授業を習熟度別の 2 班編成授業とする。</li> <li>・4～6 年生は英語検定試験を受験し、各学年にあった級の合格を目指す。</li> <li>・週 3 時間放課後英会話授業を全学年、習熟度別 2 班編成で実施する。</li> <li>・1 年生の音楽・体育・図工で英語イマージョン教育を実施する。</li> <li>・1 年生で英語の読み聞かせを実施する。</li> </ul>	<p>英検の結果、英語の考査、授業での英語使用頻度、習熟度を指標とする。</p> <p>1 年生は英語イマージョン教育での理解力や学習活動も指標とする。</p> <p>また、放課後英会話授業の活動も指標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別 2 班編成で授業を実施することで児童の実力が伸びた。聞く力については話す力をもっと伸ばしたい。</li> <li>・英検の授業を習熟度別 3 班編成で実施した結果、英語検定の合格率が良かった。宿題等の課題もタブレットを活用するなど、児童の興味を引くよう工夫がみられた。</li> <li>・46 人中 30 名 (65.2%) が合格。(2 級 2 人・準 2 級 3 人・3 級 5 人・4 級 7 人・5 級 13 人)</li> </ul>
	<p>③ 国際感覚の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧暦正月行事を行う。</li> <li>・韓国の伝統的な正月を知る。</li> <li>・韓国語弁論大会の実施。全校児童の前で韓国語の発表を行う。</li> <li>・韓国に触れる機会(行事)を作る。(國人プログラム)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の伝統的な正月の理解、韓国語の発表のレベルを指標とする。</li> <li>・ハロウィンなどのアメリカの行事も学習に取り入れ、楽しく英語を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の名節「旧正月」の体験ができた。</li> <li>・コロナ対策をしたオンラインでの校内韓国語弁論大会を実施。4～6 年生が積極的取り組み、今年度もレベルの高い弁論大会をすることができた。</li> <li>・國人プログラムは新型コロナウイルス感染症予防のため実施できなかった。</li> <li>・ハロウィンの行事ではネイティブ教師が仮装して、ハロウィンの</li> </ul>

				フレーズ等を楽しみながら教え、児童が楽しく学んだ。
2 温かい心、人間性の育成	① 礼儀正しく、規則を守り基本的な生活習慣を持つ子どもを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで正しい姿勢で元気よく挨拶ができるように教師が率先して最寄り駅、校門前で挨拶運動をする。</li> <li>・下校時の集団下校、下校指導実施。</li> <li>・登下校や公共でのマナー、学校でのルールや安全について指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員だけでなく保護者や来客にも挨拶できるようになる。校内だけでなく駅員など校外でも挨拶ができるようになる。</li> <li>・公共マナーを守るようになる。</li> <li>・授業開始時間には準備を終わらせ着席できる。</li> <li>・上のようなことが主体的にできるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に挨拶ができるようになってきた。</li> <li>・教師が集団下校を引率しているため、最寄り駅でのマナーは良い。教師がいなくても児童が主体的にマナーを守れるようになってきた。</li> <li>・大半が授業準備、時間を守る習慣ができています。</li> <li>・全てにおいて児童が主体的に行えるよう指導することが必要。</li> </ul>
	② 人権教育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権講演会や人権学習を通して、相手の立場を理解する豊かな人間性を育てる。</li> <li>・小5・6年生はエゴグラムを行い、自分の性格特徴を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違いを認め、自他ともに大切にすることを身につけるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症予防のため、人権学習で講演者を呼び、講習をすることができなかった。</li> <li>・他者理解については「リーダー・イン・ミー」で学習することができた。</li> <li>・自分を知ることで相手を理解する心を持つことができた。</li> </ul>
	③ 主体的に取り組む力を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「7つの習慣」の考えを取り入れたプログラム「リーダー・イン・ミー」を実践し、学習面、生活面で主体的に取り組む、リーダーシップ・責任感・創造力・問題解決力・自発性・チームワーク能力を身に付け、児童が主体的に取り組む新しい金剛学園の文化を創造する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「リーダー・イン・ミー」を実施し、児童が主体的に学級活動、児童会活動、クラブ活動に取り組むこと、児童が主体的に学習活動に取り組むことを指標とする。</li> <li>・教室、廊下等の掲示物。</li> <li>・7つの習慣を身に付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1時間道徳の授業を使い、「リーダー・イン・ミー」の授業を展開し、すべての子どもが自分自身のリーダーになることができた。そこから発展し、他者理解を深め、チームと積極的に関わり、コミュニケーション能力を発揮し、リーダーシップを発揮する児童が増えた。</li> </ul>

3. 確かな学力の育成	① 基礎・基本となる学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2.3年生の算数の授業を習熟度別分2班編成で実施する。</li> <li>・韓国語基礎補習授業、日本語基礎補習授業、算数基礎補習授業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数制授業を実施することで、つまづきをすぐに発見し、きめ細やかな指導を行う。</li> <li>・学力向上を目指す。また、転編入生の韓国語・日本語の習得も指標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2.3年生の算数の授業を習熟度別2班編成で行うことできめ細かな学習指導ができ、基礎学力向上につながった。</li> <li>・転編入生には母語以外の言語（韓国語・日本語）基礎補習を行い、正規授業の内容についていけるように補助ができた。</li> </ul>
	② 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得できるように教材研究をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の研修に参加して指導力アップを図る。</li> <li>・算数は5.6年生に専科教員を配置し、系統を立てた授業を展開する。</li> <li>・算数でTT授業を実施する。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」を実現する。</li> <li>・電子黒板、タブレットを活用して、楽しく分かりやすい授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TT授業できめ細やかな指導を行う。</li> <li>・児童が見通しをもって粘り強く学習に向かい、考えを広げ、深め、思考・判断・表現をさせる場面を効果的に設計し指導する。</li> <li>・電子黒板やタブレット等を活用することで学習意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TT授業授業を行い、児童のつまづきに気づき、きめ細かい指導ができた。各教科で積極的に教材（PPT等）を作成し、児童の興味関心を引き出すことができた。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」を実践するために教師の授業力を高める必要がある。研修等に積極的に参加が必要。</li> <li>・電子黒板の活用は積極的であるが、タブレットの活用は消極的であった。</li> </ul>
	③ 教材開発及び配信。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策授業のために、家庭学習用教材を製作し、児童に配信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校を見越し、家庭学習用教材（動画）を配信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期の臨時休校では家庭学習用動画をyoutubeで配信し、臨時休校中の児童の家庭学習に大いに役立った。</li> </ul>
	④ 朝読書の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼後の10分間朝読書を行い。児童の集中力を高め、効率よく学習効果を上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中し10分間読書に取り組む。</li> <li>・本の種類は図鑑、一般的な漫画以外の本にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年によっては朝礼の後の準備が遅くなり10分間の読書時間が取れていない学年があった。読書時間をしっかりとれていた学年では、小説を読む児童が増え、読書時間後の学習での集中力が増した。</li> </ul>

<p>① 電子機器の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教室にノートパソコン・電子黒板を設置し、児童が見やすく分かりやすく、楽しい授業を行う。</li> <li>・Wi-Fi 環境の整備。</li> <li>・遠隔授業の準備として、4～6年生を対象に学校でタブレット、ノートパソコンを使った遠隔授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント等コンピューター等で成した教材を活用し、児童に興味、関心を持たせ、学習意欲を高める。</li> <li>・遠隔授業の推進、準備のためにWi-Fi環境を整備し、遠隔授業の練習を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国語・英語・韓国社会・道徳で効果が大きく、児童が興味、関心を持ち、積極的に学習に取り組むことができた。</li> <li>・Wi-Fi環境が整備され、校内で遠隔授業、集会等を実施した。</li> <li>・4～6年生は学校内で遠隔授業を実施し、オンライン授業実施に向けて準備することができた。</li> <li>・iPad40台を更に追加購入し、遠隔授業の準備を整えた。</li> </ul>
<p>② 安全教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス運行放課後授業を受ける児童のため17時30分発下校バスを増便。</li> <li>・AED設置</li> <li>・AED研修実施</li> <li>・防犯カメラ設置</li> <li>・警備員の配置</li> <li>・下校指導</li> <li>・避難訓練実施 (火災・地震・津波対応)</li> <li>・防災セット完備</li> <li>・新型コロナウイルス感染症予防設備を備える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時にスクールバスを運行し、児童の通学を安全に行う。</li> <li>・救急救命講習を全教職員が受講。</li> <li>・1日に3回、最寄りの駅まで教師引率し集団下校を実施。児童が電車に乗るまで見届ける。</li> <li>・1年に3回避難訓練及び、訓練前の講習を行う。</li> <li>・全校児童の防災セットを完備。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症予防のための設備を備える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校バス、15時10分下校バス、17時30分下校バス、全てのコースで、1年間事故なく運行することができた。</li> <li>・登校時の添乗員を本校の高校生から募り、添乗させることで、登校バスの安全な運行に大きく貢献した。</li> <li>・防犯カメラの設置が抑止力になっているのか、不審者の侵入等の事件は一度もなかった。</li> <li>・最寄りの駅までの集団下校を教師が引率することで事故やトラブルが一度もなかった。電車内の苦情があったので対策が必要。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症予防のため、学校全体での避難訓練ができなかったが、各クラスで避難訓練を行った。訓練前に児童に講習することで、目的意識を持って真剣に避難訓練に取り組むことができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症予防のため、光触媒ナノゾーン抗菌コートをスクールバス、学校敷地内設備に施工し、児童生徒が安心して学校生活を送れるようになった。</li> <li>・足踏み式アルコールポンプ、非接触型検温計を設備し児童生徒教職員の検温、消毒が素早く安全にできた。</li> </ul>

## 2020学年度 金剛学園小学校 学校評価アンケート

【保護者】

- ・実施日：2021年3月9日（火）～3月15日（月）
- ・対象：小学校保護者（80世帯中72世帯の回答）【回答率】90%

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：ふつう D：あまりあてはまらない E：まったくあてはまらない

		A	B	C	D	E
1	学校の教育方針が明確である。	50	26.4	20.8	1.4	1.4
2	学校は、他校にない独自の教育活動を行っている。	61.1	30.6	8.3	0	0
3	学校は、教育活動や子どもの様子を、学級通信・ホームページ等を通して伝えている。	48.6	40.3	8.3	1.4	1.4
4	学校は、全教職員で協力し合い教育活動に取り組んでいる。	50	30.6	18.1	1.4	0
5	学校は、行事や授業参観・懇談会などを通して、子どもの学校生活の様子が分かるような機会を設けている。	58.3	29.2	11.1	0	1.4
6	学校は、より良い施設・教育の環境整備に努めている。	50	36.1	9.7	1.4	2.8
7	学校は、学校生活で問題が生じたときに、迅速・的確に対応している。	31.9	41.7	19.4	6.9	0
8	学校は、子どもの安全教育に努めている。	44.4	37.5	15.3	1.4	1.4
9	学校は、韓国文化を学ぶ機会を設けている。	69.4	29.2	1.4	0	0
10	学校は、語学教育に取り組んでいる。	58.3	33.3	5.6	2.8	0
11	学校は、子どもの学力向上に取り組んでいる。	38.9	36.1	15.3	6.9	2.8
12	学校は、健康・食事の大切さ、病気の予防について指導している。	37.5	41.7	18.1	1.4	1.4
13	学校は、いじめや不登校のないように取り組んでいる。	40.3	37.5	15.3	5.6	1.4
14	学校は、子どもたちの活躍する場を設けている。	44.4	40.3	15.3	0	0
15	学校は、守るべきルールやマナーを教えている。	34.7	44.4	18.1	0	2.8
16	学校は、クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	40.3	38.9	16.7	0	4.2
17	学校行事は、みんなが楽しく行えるように工夫されている。	54.2	36.1	8.3	0	1.4
18	お子さんは、基本的な生活習慣が身についている。	36.1	41.7	20.8	0	1.4
19	お子さんは、楽しく学校に通っている。	56.9	38.9	4.2	0	0
20	お子さんは、安全に通学している。	47.2	38.9	11.1	2.8	0
21	お子さんは、きまりや約束ごとを守っている。	34.7	37.5	25	2.8	0
22	お子さんは、進んで宿題をする習慣がついている。	34.7	40.3	20.8	2.8	1.4
23	お子さんは、宿題以外に進んで学習や読書をする習慣がついている。	18.1	26.4	31.9	19.4	4.2
24	お子さんは、道徳（リーダー・イン・ミー）の授業で「7つの習慣」が身につけてきている。	15.3	36.1	41.7	5.6	1.4

【4～6年】

- ・実施日：2021年3月10日（水）
- ・対象児童：47名（4年：9名 5年：20名 6年：18名）

A：よくあてはまる B：あてはまる C：ふつう D：あまりあてはまらない E：まったくあてはまらない

		A	B	C	D	E
1	学校に行くのが楽しい。	40.4	34	14.9	8.5	2.1
2	友だちとなかよくしている。	63.8	23.4	12.8	0	0
3	授業は、わかりやすい。	31.9	55.3	10.6	2.1	0
4	家で学習や読書をしている。	25.5	27.7	29.8	12.8	4.3
5	先生は、自分のことを理解してくれている。	34	48.9	14.9	2.1	0
6	宿題や準備物などを忘れないようにしている。	25.5	42.6	25.5	6.4	0
7	進んであいさつをしている。	51.1	29.8	14.9	2.1	2.1
8	学校でいろいろなルールを守る大切さを学び、守っている。	23.4	40.4	34	2.1	0
9	だれに対しても思いやりをもって接している。	23.4	46.8	29.8	0	0
10	毎日十分なすいみんをとっている。	29.8	29.8	23.4	10.6	6.4
11	毎日朝ごはんを食べている。	66	14.9	12.8	4.3	2.1
12	学校行事は楽しい。	68.1	21.3	6.4	4.3	0
13	係や当番の仕事、委員会活動などをがんばっている。	29.8	40.4	21.3	6.4	2.1
14	クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	46.8	25.5	12.8	8.5	6.4
15	安全に通学している。	63.8	27.7	8.5	0	0
16	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学んでいる。	51.1	38.3	10.6	0	0
17	学校からの案内文をおうちの人にわたしている。	42.6	38.3	10.6	8.5	0
18	教室・特別教室・運動場の施設などは、使いやすい。	51.1	29.8	19.1	0	0
19	道徳（リーダー・イン・ミー）の授業で「7つの習慣」が身につけてきている。	23.4	40.4	29.8	6.4	0

2020学年度 金剛学園小学校 学校評価アンケート

【教職員】

- ・実施日：2021年3月8日（月）～3月12日（金）
- ・対象：小学校教師（15名中15名回答）【回答率100%】

該当する記号の欄に○を付けてください。

A:とても思う B:やや思う C:思う D:やや思わない E:思わない

分類	評価の観点	評価項目	設問	A	B	C	D	E
学校運営	本校の独自性	建学の精神について	建学の精神が教職員、生徒、保護者など学校関係者によく浸透している。	6.7	13.3	53.3	26.7	0
		学校の教育目標について	学校の教育目標を教職員、学校関係者が理解している。	13.3	40	40	0	6.7
	教育課程	学習指導要領および教育計画について	学習指導要領に沿った教育計画を立てている。	6.7	40	53.3	0	0
	教職員連携	教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	13.3	40	40	0	6.7
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	0	40	40	20	0
	財務関係	財務に関して	学校の予算、決算の収支について理解している。	13.3	13.3	53.3	13.3	6.7
	情報公開	ホームページの活用状況	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	26.7	33.3	40	0	0
	危機管理	危機管理対応状況と役割分担について	危機管理マニュアルによる災害・事故・事件についての役割分担、警察・消防との連携・訓練など学校の安全対策は十分とられている。	6.7	33.3	53.3	6.7	0
開かれた学校づくり	地域交流について	地域や地域住民との交流ができています。	0	6.7	26.7	53.3	13.3	
教育内容	国際人教育	語学能力の育成	韓国語、英語、日本語のトリリンガル教育に十分取り組み、語学能力の育成を図っている。	33.3	40	20	6.7	0
		アイデンティティー教育	自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる生徒の育成に取り組んでいる。	6.7	46.7	40	6.7	0
		国際理解	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	0	60	26.7	13.3	0
	情報教育	情報能力育成とモラル指導	児童の情報能力の育成と情報を扱うモラル面の教育に十分に取り組んでいる。	6.7	46.7	46.7	0	0
	人権教育	教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	6.7	26.7	66.7	0	0
	環境教育	実践的泰地の育成	児童に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。	6.7	26.7	66.7	0	0
	健康・食育	健康・食に関する指導について	健康教育、食育などにも配慮している。	0	13.3	73.3	13.3	0
	児童会活動	児童会活動について	児童活動を通じて、児童が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	6.7	66.7	26.7	0	0
	その他	読書推進	図書室の利用促進など読書指導に取り組んでいる。	0	13.3	53.3	26.7	6.7
		部活動	部活動は活発である。	13.3	46.7	33.3	6.7	0
学校行事		体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	46.7	46.7	6.7	0	0	
児童指導・支援	生活指導	指導方針の一貫性	生活指導は学校の方針に従っている。	13.3	60	26.7	0	0
		安全教育と規範意識の高揚	校内巡視や登校指導等定期的に実施し、事故を未然に防ぐ体制がある。	26.7	60	13.3	0	0
		家庭との連携状況	生活指導において、家庭との連携ができています。	26.7	46.7	20	6.7	0
	児童支援	学習指導について	学習習慣の定着を指導する体制があり、児童の実態に合わせた工夫・改善を行っている。	13.3	53.3	20	13.3	0
カウンセリング体制		カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。	20	46.7	33.3	0	0	
資 教員 質 員 向 研 上 修	教員研修	進路指導について	児童一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような情報提供など支援体制がある	0	33.3	53.3	6.7	6.7
		教員の資質向上について	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	0	26.7	33.3	40	0
		初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	13.3	33.3	26.7	26.7	0
		校外研修	教員が計画的に校内・外の研修を受ける体制が整っている。	13.3	26.7	53.3	6.7	0

2020学年度 金剛学園小学校 学校評価アンケート結果の分析と対策

【4～6年生】

〈分 析〉

小学校では4～6年生がアンケートを実施した。

- ①「学校に行くのが楽しい」にB以上が74.4%「友だちと仲良くしている」にB以上が87.2%「授業はわかりやすい」にB以上に87.2%「先生は自分のことを理解してくれている」にB以上が82.9%になっていて、大半の児童が楽しく学校生活をを送っていることが分かる。友だち・先生との関係が良く、楽しく学習に取り組んでいると思われる。
- ②「友だちとなかよくしている」にD・Eがなく、「授業が分かりやすい」と「先生は自分のこと理解してくれている」にDがそれぞれ2.1%、Eが0%になっていることから、小学校の児童は学校での人間関係が良好なことが分かる。
- ③「毎日十分なすいみんをとっている」にD以下が17%「毎日朝ご飯を食べている」にD以下が6.4%ある。この項目に関しては、児童の健康や学習意欲など学校生活に大きく影響するものなので、D以下がないようにしていきたい。
- ④「学校からの案内文をおうちのの人にわたしている」にDが8.5%ある。家庭との連絡が確実にできるよう、D以下は0%にしないといけない。
- ⑤「道徳（リーダー・イン・ミー）の授業で「7つの習慣」が身につけてきている」にB以上が63.8%になっている。1年間を通して児童の「7つの習慣」を教え、教室・廊下の掲示物はもちろん、「7つの習慣」の替え歌を作り、動画配信したことが成果につながったと思われる。

〈対 策〉

- ①については、学校適応アンケート等を活用し児童の様子をもっと把握し、来年度D以下が0%になるようにしたい。
- ③については、児童の学校での様子などを家庭と共有しD以下が0%になるようにする。
- ④については、家庭との連絡が確実にできるよう、案内文以外にミマモルメやホームページも活用する。
- ⑤については、家庭でも「7つの習慣」を知っていただくよう、「7つの習慣」の保護者研修も開催したい。

【保護者 分析】

- ①「学校は、韓国文化を学ぶ機会を設けている」にB以上が98.6%「学校は、語学教育に取り組んでいる」にB以上が91.6%になっていて本校の重点目標が評価されているのが分かる。
- ②「学校は、子どもの学力向上に取り組んでいる」にD以下が9.7%「お子さんは、宿題以外に進んで学習や読書をする習慣がついている」にD以下が23.6%になっている。学習に取り組む姿勢をきちんとさせる必要がある。
- ③「学校は、守るべきルールやマナーを教えている」にB以上が79.1%、C以上が97.2%になっていて保護者の満足度が分かる。
- ④「お子さんは、道徳（リーダー・イン・ミー）の授業で「7つの習慣」が身につけてきている」でB以上が51.4%であることから、子どもたちの行動から、学校での取り組みが分かっていると思われる。
- ⑤「学校は、教育活動や子どもの様子を、学級通信・ホームページ等を通して伝えている」にB以上が88.9%になっているので、大半の保護者に学校の様子が伝えられていることが分かる。

【保護者 分析】

- ①については、学校の重点目標がであるので、今後も引き続き語学教育、韓国文化の学習に力をいれていきたい。
- ②については、学力向上の取り組みのため、教師の授業研究強化し、保護者に分かっていたいただくよう授業参観などで授業の様子を伝えるようにしていきたい。
- ③については高い評価を受けていると思われる。今後も引き続き児童のマナー向上に力をいれていきたい。
- ④については「リーダー・イン・ミー」取り組み1年目としては成果が現れたのではないかとと思われる。2年目にはさらに高い評価が得られるよう力をいれたい。
- ⑤については今後も保護者に学校の様子が分かるように発信したい。

# 学校関係者評価委員会報告

・実施日時:2021年5月22(土) 午前10時~午後1時

・場 所:本校 会議室

・出席者

(教職員)

尹裕淑校長・花田中高教頭・玄勝己小学校教頭・許應石事務長

(PTA実行委員会役員)

趙誠洙総会長・中原銘子中高等学校会長・竹本昌子小学校会長・上条和久中高等学校副会長

金佳暎小学校副会長

【小学校】

・語学(英語・韓国語)・「7つの習慣」・学力向上に力を入れてほしい。

・読書活動の強化

朝読書の時間を増やしてほしい。(10分間⇒20分間)

朝読書のルールを決める。推薦図書を購入。(レベル別に優しい図書から難しい図書まで。)

・児童会活動に力を入れてほしい。

飼育活動を通し、命の大切さを学ぶ。図書委員の活動を活発にし、児童の読書量を増やしてほしい。

・家庭学習の項目には塾や宿題も含まれていることをアンケートに記載するようにしてほしい。

・十分な睡眠をとっているという項目には、何時間とっているのか分かるようにしてほしい。

・回答率が100%になるようにしてほしい。

・前年度と比較できるようにしてほしい。

・学校、保護者、地域の連携が定説であるが、本校では地域との連携が少ないので保護者の協力が大事である。

【中高等学校】

・「7つの習慣」ではフォーサイト手帳をしっかりと活用してほしい。記入した後の振り返りが重要。学校で生徒のフォーサイト手帳をしっかりとチェックしてほしい。

・スマホを使う時間が増え、睡眠時間が短くなっている。スマホの使い方、時間管理を指導する必要がある。

・語学力が伸びているので保護者に分かるように発信を充実するようにしてほしい。

・いろんな取り組みを前向きに取り入れているのでとてもありがたい。取り組みを良い方向にするため、教師と保護者がもっと協力する必要がある。

・学校で教師間の情報共有が不十分である。情報共有をしっかりとすることで保護者が学校、教師に相談しやすくなる。

・高校生が教師に悩みを相談できなくても、友だちに相談できていれば問題はない。

・学校、保護者、地域の連携が定説であるが、本校では地域との連携が少ないので保護者の協力が大事である。

【その他】

・教職員の評価が高くなるように、教職員研修を充実したい。

・アンケート調査で何が知りたいのか明確にする必要がある。